

プログラム(確定版)

11月7日(水)

(基礎コース)

13:30-15:00	I-01	スペクトル定量分析のためのケモメトリックス基礎-----	1
		(東京工業大学大学院理工学研究科)長谷川 健	
15:00-15:30		(休憩)	
15:30-16:00	C-01	The Unscrambler によるスペクトル解析-----	3
		(株式会社エムエステクノシステムズ)角野富三郎	
16:00-16:30	C-02	Pirouette の紹介とケモメトリックスの注意点-----	5
		(ジールサイエンス株式会社) 山地武弘	
16:30-17:00	C-03	GRAMS によるスペクトル解析-----	7
		(株式会社デジタルデータマネジメント) 小林 修	
18:00-18:45		幹事会	
19:00-20:00		理事会 会場：ホテルグランド東雲	

第23回近赤外フォーラム

実行委員会

会長	尾崎幸洋 (関西学院大学)
幹事	土川 覚 (名古屋大学大学院)
幹事	高柳正夫 (東京農工大学大学院)
幹事	宮澤光博 (農業生物資源研究所)
監事	関口礼司 (日本食品分析センター)
事務局長	河野澄夫 (食品総合研究所)
事務局員	Sirinnapa Saranwong (食品総合研究所)

アドバイザーコミッティ

岩元睦夫 (農林水産先端技術産業振興センター)
的場輝佳 (関西福祉科学大学健康福祉学部)

現地協力委員

委員	中村博美 (食品総合研究所)
委員	谷川静代 (食品総合研究所)
委員	梅原仁美 (食品総合研究所)
委員	足立憲彦 (食品総合研究所)

事務局

〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
食品総合研究所 非破壊評価ユニット気付
近赤外研究会事務局
TEL:029-838-8088, FAX:029-838-7996

11月8日(木)

09:15-09:20	会長挨拶	
09:20-09:30	(Karl Norris Award 授賞式)	
	(Karl Norris Award 受賞講演)	
09:30-10:10	K-01 How the NIR technology came to and spread in Europe for quality assessment and control in the food industry-----	9
	(Corvinus University of Budapest, Hungary) Karoly Kaffka	
	(基調講演)	
10:10-11:40	K-02 Twenty five years of NIR applications in an agricultural research center-----	21
	(Walloon Agricultural Research Center, Belgium) Pierre Dardenne	
10:40-11:10	(休憩、ポスター掲載)	
	(特別講演)	
11:10-11:40	K-03 Near infrared spectroscopy for implementation of BSE measures in the rendering and feed industries-----	33
	(University of Cordoba, Spain) Ana Garrido-Varo, Jose Emilio Guerrero-Ginel and M.D Pérez-Marin	
11:40-12:10	(企業プレゼンテーション)	
	M-01 (1)株式会社ニレコ-----	43
	M-02 (2)横河電機株式会社-----	47
	M-03 (3)ブルカー・オブティクス株式会社-----	51
12:10-13:20	(昼食)	
13:20-14:30	(企業プレゼンテーション)	
	M-04 (4)株式会社スペクトラ・コープ-----	55
	M-05 (5)日本ビュッヒ株式会社-----	59
	M-06 (6)日本分光株式会社-----	61
	M-07 (7)ピーエルテック株式会社-----	63
	M-08 (8)株式会社エムエステクノシステムズ-----	67
	M-09 (9)財団法人雑賀技術研究所-----	71
	M-10 (10)株式会社湘南貿易-----	73
14:30-15:00	(休憩、ポスターセッション)	
	(医療・製薬セッション)	
15:00-15:30	I-02 パルス・グルコメトリ : 近赤外瞬時差分分光スペクトル分析による非観血的血糖計測法-----	77
	(金沢大学大学院自然科学研究科他) 山越憲一、山越康弘、小川充洋	
15:30-16:00	I-03 機能的近赤外分光分析法fNIRSによる脳機能計測の応用と課題-----	81
	((独)農研機構 食品総合研究所) 壇 一平太	
16:00-16:15	O-01 様々なデザインの錠剤に適用可能な主薬含量測定法の開発-----	82
	(第一三共(株)製剤技術研究所) 伊藤雅友、鈴木達也、矢田修一、草井 章、中上博秋	
16:15-16:30	O-02 近赤外(法)を用いた二層錠の結晶多形含有量の評価-----	83
	(武蔵野大学薬学研究所) 大塚 誠、福井裕也	
16:30-16:45	O-03 ケモメトリックスによる錠剤のNIRイメージング解析-----	84
	(関西学院大学理工学部他) 新澤英之、阿波君枝、奥村剛宏、尾崎幸洋	
16:45-17:00	O-04 近赤外分光法を用いたノンサンプリングによる劣化血小板製剤の検出 : 出庫リアルタイム検査への応用-----	85
	(福島県立医科大学他) 川畑絹代、江月将史、大戸 斉、Sirinapa Saranwong、河野 澄夫	
17:00-17:30	近赤外研究会総会	
18:00-	懇親会、会場：ホテルグランド東雲	

11月9日(金)

09:00-09:05	(NIR Advance Award 授賞式) (NIR Advance Award 受賞講演)	
09:05-09:25	I-04 近赤外分析の高速性を生かした工業プロセス改善-----	87
	(横河電機株式会社環境機器技術部)田中秀子	
09:25-09:45	I-05 近赤外分光法による青梅の主要有機酸の迅速測定-----	91
	(秋田県立大学生物資源科学部) 陳 介余	
09:45-10:15	(休憩、ポスターセッション) (基礎セッション)	
10:15-10:45	I-06 近赤外分光法による酸化物表面の吸着水クラスターの構造解析-----	95
	(大阪府立大学大学院工学研究科) 竹内雅人	
10:45-11:15	I-07 赤外・近赤外吸収による高分子中含有水の状態分析-----	99
	(NIRS・水研究所) 岩本令吉	
11:15-11:45	I-08 高圧FTIR法による蛋白質凝集体の構造-----	105
	(立命館大学理工学部) 谷口吉弘	
11:45-12:00	O-05 Aqua-Photomics: Why and How NIRS can measure very low concentrations?---	107
	(神戸大学農学研究科) RoumianaTsenkova	
12:00-13:00	(昼食)	
13:00-13:30	(ポスターセッション)	
	(化学 セッション)	
13:30-14:00	I-09 カーボンナノチューブの分離精製と可視 - 近赤外 1 次元エキシトン吸収に よる評価-----	109
	((独)産業技術総合研究所) 片浦弘道	
14:00-14:15	O-06 近赤外分光法を用いたバイオディーゼルの燃料化装置排水の成分計測-----	111
	(三重大学大学院他) 末原憲一郎、香田次郎、中野靖久、橋本 篤、矢野卓雄	
14:15-14:30	O-07 C-H伸縮振動の波数シフトを用いたアルコール濃度定量法-----	112
	(関西学院大学理工学部) 池羽田晶文、三上由帆、尾崎幸洋	
14:30-14:45	(休憩) (農業・食品セッション)	
14:45-15:15	I-10 SIMCA の活用による実用的な検量式作成・改善システム-----	113
	(愛知県農業総合試験場) 大竹良知、辻 正樹	
15:15-15:30	O-08 原乳、生乳、還元乳、HSCC 乳の近赤外判別法-----	115
	(中国農業大学)韓 東海	
15:30-15:45	O-09 近赤外分光分析法を用いた大豆のイソフラボン・ビタミンB・トコフェロ ール含量の推定 - 2. SpectraStar2400 + SensoLogic による解析-----	116
	((独)農研機構 九州沖縄農業研究センター) 佐藤哲生、江口研太郎、有村一弘、 西場洋一	
15:45-16:00	O-10 TOF-NIRS を用いたグレープフルーツの非破壊測定-----	117
	(名古屋大学大学院他) 倉田洋平、池本有香、宮本久美、大倉 力、土川 寛	
16:00-16:15	O-11 Rapid pesticide detection by DESIR-NIRS: Effect of chemical structure and examination of collaborative research-----	118
	((独)農研機構 食品総合研究所) S.Saranwong、河野澄夫	
16:15-16:30	Best poster 賞発表	
16:30	事務連絡、閉会	
ポスター		119
海外からの招待講演者紹介		149
Author Index		153
参考資料		
協賛企業広告		